

# XbotGo Falcon

AI SPORTS CAMERA



取扱説明書

**XbotGo**<sup>TM</sup>  
WWW.XBOTGO.COM



# 目次

<b>はじめに</b>	<b>3</b>
<b>使用上の注意</b>	<b>4</b>
<b>製品内容およびオプション</b>	<b>6</b>
製品内容	6
オプション	6
<b>製品概要</b>	<b>7</b>
XbotGo Falcon カメラ	
本体のボタンと機能	7
<b>使用前の準備</b>	<b>16</b>
1. 充電方法	16
2. XbotGo アプリのダウンロードとインストール	17
<b>使用開始</b>	<b>18</b>
1. スマートフォンとの接続	18
2. デバイスリストの確認	19
3. 接続デバイスの変更	20
4. microSD (TF) カードの取り付け	21
5. 三脚の取り付け	23
6. 撮影キャリブレーション	24
7. XbotGo RC1 リモコン	25

# 目次

---

<b>撮影の説明</b>	<b>32</b>
撮影場所の選択	32
<b>アプリケーションの説明</b>	<b>34</b>
XbotGo アプリ	34
<b>ファームウェアアップデート</b>	<b>54</b>
アップデート手順	54
<b>製品仕様</b>	<b>56</b>
<b>よくある質問</b>	<b>57</b>
1. 液晶画面のアイコンの説明	57
2. 追跡異常が発生する可能性のある原因は？	58
3. 特定の選手を追跡できますか？	58
4. 電源が入らない場合の対処方法は？	58
5. デバイスの Bluetooth に接続できない場合は？	59
6. 一般的な解決方法は？	61

# はじめに

---

XbotGo Falcon カメラをお選びいただき誠にありがとうございます。

XbotGo Falcon カメラは、インテリジェントトラッキング撮影、試合のライブ配信、スコア記録、ビデオ編集、運動解析およびクラウドストレージを一体化した AI スマートカメラです。本製品は BLE (低消費電力 Bluetooth) および Wi-Fi 接続に対応し、デュアルレンズシステムを採用しています。メインカメラは独立した高解像度カメラです。インテリジェントな自動追跡撮影を実現します。

本機はチームおよび個人のスポーツシーン向けに設計され、強力な画像処理能力、柔軟なチルト調整、複数台連携のサポートを備えています。個人トレーニング、プロ試合の撮影、高品質なライブ配信など、あらゆるシーンで Falcon は競技中のすべての瞬間を正確に捉えることができます。




XbotGo Falcon が卓越した撮影体験を提供し、スポーツや創作活動においてさらなる可能性を引き出せることを願っています。

本書には、本製品の使用方法、注意事項、メンテナンスに関する重要な情報が含まれています。安全かつ効率的に使用し、本製品の性能を十分に発揮するため、使用前に必ずお読みください。本書に掲載されている画像や説明は参考用です。実際の製品を優先とします。本書の著作権は Suzhou Deep Foresight Technology Co., Ltd. に帰属します。当社の書面による許可なく、本書の内容をいかなる形式でも複製、配布、改変すること、または商業目的で使用することを禁じます。

当社は継続的に製品を改良しており、仕様変更が行われる場合があります。その際は事前の通知を行いません。

# 使用上の注意

本書では、特に重要な情報を以下のシンボルで区別しています。内容をよくお読みいただき、理解を深めてください。

 <b>警告</b>	指示に従わないと、人身事故や死亡につながるおそれがあります。
 <b>注意</b>	指示に従わないと、機器の破損、性能の低下、またはけがの原因となるおそれがあります。
 <b>注記</b>	本製品をより安全かつ適切にご使用いただくための操作および使用に関する注記です。

**本製品をご使用になる前に、以下の注意事項をよくお読みください。**

- 起動中に XbotGo Falcon カメラが外部から妨害されないようにしてください。
- 本製品を起動する前に、三脚にしっかりと固定されていることを確認してください。落下や衝撃、圧力により損傷するおそれがあります。
- 落下や衝撃により正常に動作しなくなる可能性がありますので、丁寧に取り扱ってください。

- 
- 指定外の充電器、電源アダプター、または USB Type-C ケーブルを使用しないでください。製品の故障につながるおそれがあります。
  - 本製品を分解、修理、改造しないでください。異常動作や故障の原因となります。
  - 長時間連続使用によりモーターが高温になる場合があります。やけどを防ぐため、取り扱いにご注意ください。
  - 涼しく乾燥した環境で保管してください。
  - ストーブやヒーターなどの熱源の近くに置かないでください。高温環境（高温の車内や密閉空間など）での保管は避けてください。
  - お子様やペットの手の届かない場所に保管してください。
  - 過充電を避け、バッテリーセルを損傷しないようにしてください。
  - 使用温度範囲は 0°C - 40°C です。

# 製品内容およびオプション

## 製品内容



本体



USB-Type C  
ケーブル



はっ水  
キャリング  
ケース



クイック  
ユーザー  
ガイド



クイック  
リリースプレート



クリーニング  
クロス

## オプション



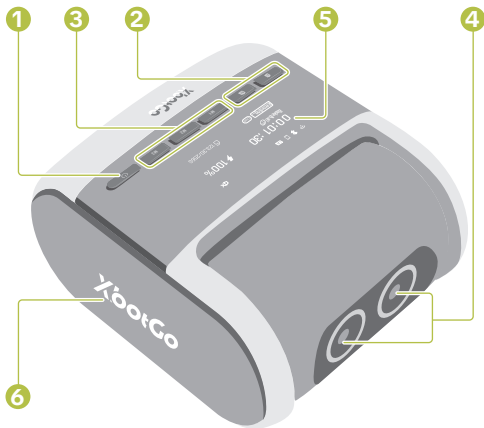
ウェザープロテクション  
パラソル



XbotGo NT4  
三脚

付属品に不足や破損がある場合は、梱包箱を処分する前にカスタマーサービスまたは販売店へご連絡ください。


## XbotGo Falcon カメラ 本体のボタンと機能




# 製品概要

---

## ① 電源ボタン

電源セーフティロックが「」解除状態の場合、電源ボタンを短押しすると電源を入れることができます。

起動後、画面には起動画面、現在のバッテリー残量、ストレージ状態が表示されます。

電源セーフティロックが「」解除状態の場合、電源ボタンを長押しすると電源を切ることができます。

液晶画面が消灯し、デバイスがシャットダウンします。

### Bluetooth リセット

電源ボタンを素早く2回押すと Bluetooth がリセットされ、以前接続していたスマートフォンとのペアリングが解除され、新しいデバイスと迅速に接続できます。

### レンズリセット

自動リセット — 電源オン/オフ時にレンズが自動的に中心位置へ戻ります。

## ② メイン位置/サブ位置ボタン

この機能は現在開発中で、今後のファームウェアアップデートにより順次提供予定です。

### 3 M1, M2, M3 ボタン

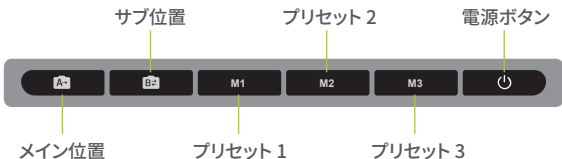
3つのプリセット撮影モードを提供します。

- M1：サッカー
- M2：バスケットボール
- M3：アイスホッケー

必要な撮影モードボタンを選択してください。

- 3秒長押しで撮影開始
- 3秒長押しで撮影終了

※ ユーザーは必要に応じて設定を変更または初期設定に戻すことができます。詳細な設定方法は48ページをご覧ください。



### 4 カメラ

デュアルストリーム 4K30 (録画) + 1080P30 (プレビュー) に対応

# 製品概要

## 5 液晶画面

操作に応じて以下の情報を表示します。



## 6 サイドライト

使用シーンに応じてサイドライトの表示状態が変化します。

サイドライト表示	通常シーン
ゆっくり点滅	起動後アプリに未接続
常時点灯	起動後アプリに接続
消灯	長時間未操作でスリープ状態

サイドライト表示	通常シーン
2回点滅	スリープ状態からの復帰
白色点滅	出荷時設定へのリセット中

サイドライト表示	特殊シーン	 サイドライト
赤色点滅	録画中に microSD (TF) カードの空き容量不足	
赤色点滅	microSD (TF) カードエラー—録画失敗	
赤色点滅	低電力 (5%)	

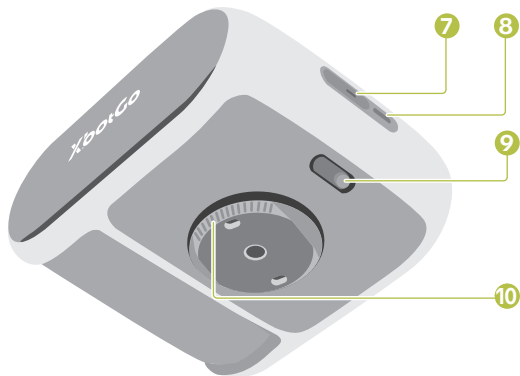
# 製品概要

## ビープ音の通知

音声	原因	説明
短音 2 回	録画中に microSD (TF) カードが満杯	録画中にストレージ容量不足を検出し、自動的に録画を停止して保存します。
短音 1 回	録画通知音	録画の開始 / 停止
短音 2 回	バッテリー警告	電量が 5% 未満

## ボタン組み合わせ機能

出荷時設定にリセット	メイン位置ボタンと M1 ボタンを同時に 10 秒以上長押しします。液晶画面上のロゴが点滅し、カメラがリセット状態に入ります。ロゴの点滅が停止すると出荷時設定へのリセットが完了します。
ウェイクアップ機能	任意のボタンを押してスリープ状態のデバイスを復帰させます。



## 7 メモリーカードスロット

プロ仕様の高速 microSD (TF) カードの使用を推奨します。アクションカメラや 4K 動画撮影に適しています。

# 製品概要

## 8 Type-C PD 充電ポート


- PD 急速充電規格に対応した電源アダプター（別売）の使用を推奨します。本製品は最大 18W の急速充電に対応しています。
  - 付属の USB Type-C ケーブルを使用して充電してください。
  - 充電中は液晶画面に充電状態が表示されます。
  - 充電状態が表示されない場合は、アダプターやケーブルの接続を確認してください。
  - 充電時間：3 時間 \*
  - 使用時間：4 時間 \*
- \* 上記のデータは Deep Foresight ラボのテスト結果に基づいており、実際の環境によって多少異なる場合があります。



注記



SD カードリーダーおよび Type-C 変換アダプターを使用して、データをスマートフォンまたはパソコンへ直接転送することを推奨します。

## 9 電源セーフティロック

- 電源セーフティロックを使用することで電源ボタンの誤操作を防止できます。
- 撮影中に電源セーフティロックを「」ロック状態に切り替えても撮影状態には影響せず、電源ボタンのみがロックされ、誤って電源が切れることを防止します。



注意

電源セーフティロックが「」ロック状態の場合に電源をオフにするには、まず電源セーフティロックを「」解除状態に切り替えてから電源ボタンを押してください。

## 10 回転ベース

水平 360° の無段階回転に対応しています。付属のクイックリリースプレートと組み合わせて使用できます。

# 使用前の準備

## 1. 充電方法

- 付属の USB Type-C ケーブルを使用し、本体背面のポートから充電してください。
- 充電中、カメラの液晶画面に充電状態（バッテリー残量%）が表示されます。
- フル充電までの時間は約 3 時間で、満充電後は約 4 時間連続使用できます。
- 液晶画面に充電状態が表示されない場合は、電源アダプターやケーブルの接続を確認してください。



注意

- PD 急速充電に対応した電源アダプター（別売）および付属の USB Type-C ケーブルの使用を推奨します。
- ケーブルを抜き差しする際は、本製品や部品を損傷しないよう注意してください。
- 過充電はバッテリーセルを損傷するおそれがありますのでおやめください。

## 2. XbotGo アプリのダウンロードとインストール

アプリストアで「XbotGo」を検索するか、QR コードをスキャンしてダウンロード・インストールしてください。




iOS 15.0 以降




Android 10.0 以降

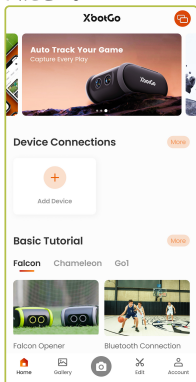
**使用開始前に、以下をご確認ください。**

- (1) デバイスが十分に充電されていること。
- (2) メモリーカードが挿入され、空き容量が十分にあること。
- (3) Falcon カメラを三脚にしっかり取り付け、落下を防止すること。
- (4) 電源セーフティロックが「」解除状態であること。

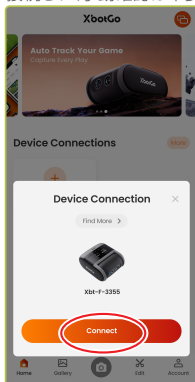
# 使用開始

## 1. スマートフォンとの接続

- (1) 電源セーフティロックを「」解除状態にし、電源ボタンを短く押して Falcon カメラを起動します。スマートフォンの Bluetooth をオンにし、XbotGo アプリを起動してください。

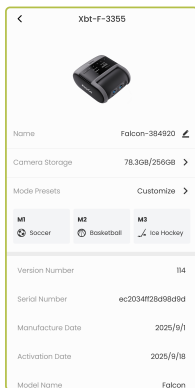
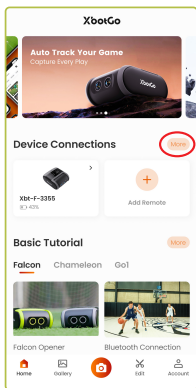


- (2) XbotGo アプリが自動的に Falcon カメラを検出します。  
[Connect ( 接続 )] をタップしてペアリングを完了します。ペアリングが成功すると、次回以降は自動的に接続され、手動確認は不要です。



## 2. デバイスリストの確認

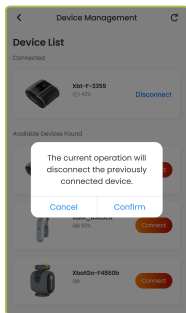
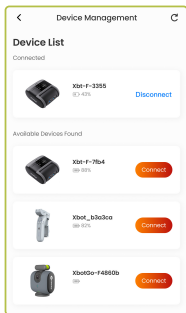
- (1) スマートフォンがデバイスに接続された後、[More ( その他 )] をタップするとデバイスリスト画面に入ります。
- (2) デバイスリストで該当デバイスのアイコンをタップすると、詳細情報を確認できます。



# 使用開始

## 3. 接続デバイスの変更

- (1) デバイスリストでは、既に接続されているデバイスを切断することも、[Connect ( 接続 )] ボタンをタップして新しい利用可能なデバイスに直接接続することもできます。
- (2) 既に他のデバイスが接続されている状態で新しいデバイスを接続すると、システムが確認ウィンドウを表示します。[Confirm ( 確定 )] を選択すると新しいデバイスに切り替え、[Cancel ( キャンセル )] を選択すると既存の接続を維持します。



## 4. microSD (TF) カードの取り付け

本製品の microSD (TF) カードスロットは本体背面にあります。以下の手順に従って取り付けてください。

- (1) 本体背面の microSD (TF) カードスロットのカバーを開けます。
- (2) 図の矢印方向に従って microSD (TF) カードを挿入します。
- (3) 取り出す場合は、カードを軽く押し込むと少し飛び出しますので、そのまま引き抜きます。
- (4) microSD (TF) カードスロットのカバーをしっかり閉めてください。

※ 推奨カード: SanDisk Extreme、Lexar Professional 1066x、Samsung PRO Plus などの microSDXC UHS-I U3 V30 以上の高速カード。

対応容量: 最大 1TB



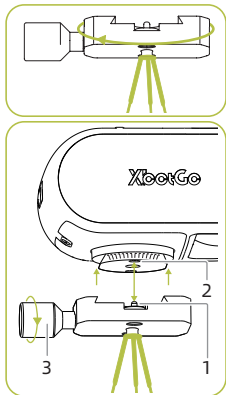
# 使用開始

## 注意

- 低速カードや microSD 以外の記録メディアは使用しないでください。
- 使用後の microSD (TF) カードは発熱する場合があります。取り出す際はご注意ください。
- microSD (TF) カードをフォーマット中、データ記録・削除中、または他の機器へ転送中に取り外したり電源を切ったりしないでください。データ損失やカード・機器の破損の原因となります。
- microSD (TF) カードを液体に近づけないでください。故障の原因となります。
- microSD (TF) カードを強く曲げたり、落としたり、指や金属でこすったりしないでください。破損の恐れがあります。
- 水中、高温、直射日光の当たる場所に置かないでください。

## 5. 三脚の取り付け

- (1) クイックリリースプレート下部の 1/4 ネジ穴を使用して三脚を取り付けます。
- (2) Falcon カメラ底部にクイックリリースプレートを取り付けます。取り付けの際、プレートの位置決めピン [1] と Falcon カメラの位置決め穴 [2] を合わせ、ハンドル [3] を時計回りに回してしっかり固定します。



# 使用開始

## 6. 撮影キャリブレーション

キャリブレーションは、以下の2つの方法で実行できます。必要に応じて適切な方法を選択してください。

### 6.1 ハードウェア操作でのキャリブレーション

三脚の設置が完了し、M1 / M2 / M3 ボタンを長押しすると、Falcon カメラは自動的にキャリブレーションを開始します（ユーザーによる操作は不要）。キャリブレーション完了後、撮影カウントダウンが終了する前（デフォルト：60 秒）に、カメラを適切な位置に設置し、撮影準備を行ってください。

### 6.2 ソフトウェア操作でのキャリブレーション

三脚の設置が完了し、スマートフォンと Falcon カメラのペアリングが済んだら、撮影モードを選択し [Start Recording (録画開始)] をタップすると、カメラは自動的にキャリブレーションを開始します（ユーザーによる操作は不要）。キャリブレーション完了後は、アプリの指示に従ってカメラを適切な位置に設置し、撮影準備を行ってください。

Start Recording



キャリブレーション完了後は、Falcon 本体を無理に動かさないでください。撮影位置を調整する必要がある場合は、三脚側で調整してください。

## 7. XbotGo RC1 リモコン

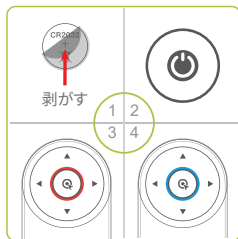
### 7.1 リモコン仕様

	型番	XbotGo RC1
	電池型番	CR2032
	信号受信範囲	10 m
	使用環境	-5 °C ~ 60 °C

※ リモコンは Kickstarter 版専用の付属品です。

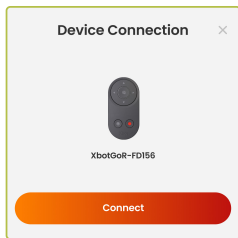
### 7.2 クイックスタートガイド

- (1) 電池カバーを開け、電池下部の絶縁シートを取り外してから電池を入れ、カバーを閉じます。
- (2) 初回使用時は Bluetooth ペアリングが必要です。電源ボタンを 3 秒間長押しして電源をオン／オフします。
- (3) リモコンを起動すると、[Phone Connection Indicator (スマートフォン接続インジケータ)] が赤く点滅します。



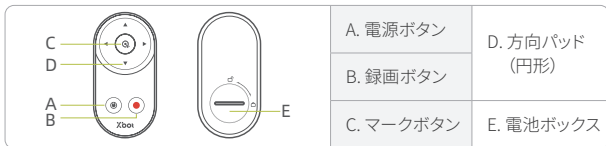
# 使用開始

- (4) 電源が入ったデバイスの近くで、XbotGo アプリ内の「XbotGoR-F-XXXX」を選択し、タップしてペアリングを実行します。接続完了後、インジケータが青色に点灯します。
- (5) 通信範囲外の場合  
インジケータが赤く点滅しているときは、接続が切断されています。1分以内に通信範囲に戻ると青色が点灯し、自動的に再接続します。
- (6) スリープと電源オフ  
3秒以上操作がない場合、リモコンはスリープモードに入ります。スリープ状態で任意のボタンを押すと再接続します。30分以上スリープが続くと自動的に電源がオフになります。再び電源ボタンを押し、デバイスの近くで再接続してください。



使用中にリモコンが切断されても、リモコン操作のみが影響を受け、進行中のプログラムには影響しません。XbotGo アプリでリモコンが検出されない場合は、電源ボタンを3秒長押しして一度電源を切り、再度3秒長押しして再起動し、再ペアリングを行ってください。

## 7.3 XbotGo RC1 リモコン



## 7.4 ボタンと機能

使用を開始する前に、リモコンの各機能を必ず確認してください。

### 7.4.1 電源ボタン



電源ボタンを3秒長押しでリモコンの電源をオン/オフします。

#### XbotGo Falcon カメラのセンターリセット

電源ボタンをダブルクリックすると、Falcon カメラが自動的に中央位置（デフォルト視野角）に戻ります。録画中に自動追跡モードがオンの場合、センターリセット後も自動追跡録画が継続されます。

# 使用開始

---

## 7.4.2 Bluetooth ペアリング



電源ボタンを長押しして起動後、XbotGo アプリを開いてリモコンを接続します。



- **ステータスインジケータ**：(1) 赤点滅：未接続  
(2) 青点灯：接続完了。
- **省エネモード**：3 秒間操作がない場合はインジケータが自動消灯し、任意のボタン操作で即時復帰します。

## 7.4.3 リモコンのリセット



電源が入っている状態で、マークボタンを 3 秒以上長押しするとリモコンがリセットされます。

#### 7.4.4 撮影機能



赤いボタンは録画の開始、一時停止、再開、停止の操作ボタンです。

- **録画開始** ボタンを1回押すと「ピッ」という音が鳴り、青色ブリージングライトがゆっくり点滅し、録画開始となります。
- **録画一時停止** 録画中にボタンを1回押すと「ピッ、ピッ」と音が鳴り、青色ブリージングライトが速く点滅し、一時停止となります。
- **録画再開** 録画が一時停止中にボタンを1回押すと「ピッ」と音が鳴り、青色インジケーターがゆっくり点滅します — 録画再開。
- **録画停止** ボタンを1.5秒長押しすると長い音「ピー——」が鳴り、青色インジケーターが点灯状態に戻ります — 録画停止。

# 使用開始

## 7.4.5 向き操作



撮影（録画）画面で、上・下・左・右の方向キーを押すと、レンズが対応する方向に回転します。

- **短押し**

方向キーを短く押すと、レンズが短時間対応する方向に動いた後、停止します。

- **長押し**

方向キーを長押しすると、レンズが押した方向に連続して回転し、キーを離すと停止します。

## 7.4.6 マーク機能（ビデオ録画モード専用）



録画中に手動で重要な瞬間をマークし、後の編集でハイライト部分を素早く検索できます。

- **マーク成功**

録画開始後、マークボタンを押すとリモコンから音が鳴り、マーク成功を示します。

- **マーク無効**

録画が一時停止または停止している状態でマークボタンを押すと、リモコンが赤く点滅し音を出します。この場合マークは無効で、システムが自動的に指令を無視します。

## 7.5 バッテリー

リモコンには CR2032 ボタン電池が内蔵されています。

最良の性能を得るために：

- 他の種類の電池を使用しないでください。
- 2 か月以上使用しない場合は電池を取り外してください。
- 電池は一般ゴミとして廃棄せず、必ず地域の法令に従って正しく処理してください。



**警告**

本製品には有害物質を含むボタン電池が使用されています。絶対に飲み込まないでください。お子様の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだ場合、化学的火傷、軟組織の穿孔、または死亡の危険があります。摂取後 2 時間以内に重篤な損傷が発生するおそれがあるため、直ちに医師の診察を受けてください。

## 7.6 リモコンに関する注意事項

- リモコンは撮影用スマートフォンから 10 メートル以内でご使用ください。
- リモコン信号を受信すると、Falcon 本体の画面にリモコン接続状態が表示されます。

# 撮影の説明

## 撮影場所の選択

### 1. スポーツイベント撮影時の設置推奨位置

スポーツイベントを撮影する際は、コートセンターライン付近にカメラを設置することを推奨します。この位置は、試合の重要な瞬間をより確実に捉えるための最適な視野を提供します。



(サッカーコート例)

### 2. 全フィールドをカバーする撮影設定手順

すべての試合モード（バスケットボール半場モードを除く）でフィールド全体を撮影できるよう、以下の設定手順に従ってください。

- (1) 追跡範囲の確認:Falcon カメラが試合エリア全体をカバーでき、死角を効果的に回避できていることを確認してください。
- (2) 設置位置の最適化:Falcon カメラの設置位置を調整し、試合中のすべての重要な動きを明確かつ安定して捉えられるようにしてください。

### 3. 観客による遮蔽を回避するための最適化提案

観客が視界を遮らないよう、以下の提案を参考にしてください。

- (1) カメラ高さの確保またはサイドライン位置の調整: 推奨高さまで三脚を伸ばし、サイドライン付近に設置してください。



注意

撮影中にデバイスを持ち上げると、追跡が正常に機能しなくなる可能性があります。

- (2) 近距離の観客に注意: 撮影中、カメラ付近の観客の動きを注意深く確認し、必要に応じてデバイスまたは撮影位置を調整し、視界が遮られないようにして撮影品質を確保してください。



注意

キャリブレーション完了後は、Falcon 本体を無理に動かさないでください。撮影位置を調整する必要がある場合は、三脚側で調整してください。

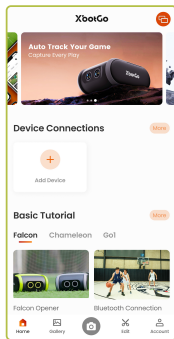
# アプリケーションの説明

## XbotGo アプリ

Falcon カメラは XbotGo アプリと連携して使用します。スマートフォンで撮影映像をリアルタイム表示し、自動追跡や手動撮影などの機能を利用できます。

### 1. アプリの接続

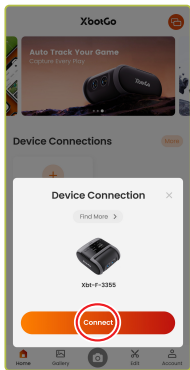
- (1) スマートフォンの設定で Bluetooth 機能をオンにします。
- (2) XbotGo アカウントを登録し、ログインします。
- (3) XbotGo アプリを開き、メイン画面に入ります。正常に動作させるため、表示された案内に従って必要な機能の権限を許可してください。これらの権限は製品機能の実現にのみ使用され、プライバシーは厳重に保護されます。
- (4) アプリが「Xbt-F-XXXX」という名前の XbotGo デバイスを検索します。見つかったら選択して接続を確立します。見つからない場合はスマートフォンの Bluetooth 設定を確認するか、他のデバイスとペアリング済みでないか確認してください。



注記

Falcon カメラの電源ボタンを 2 回連続で押すと、Bluetooth がリセットされ、以前ペアリングしたスマートフォンとの接続が解除され、新しいスマートフォンとすばやく接続できます。

- (5) 初回接続時にはペアリング通知が表示されます。接続するかどうか選択できます。成功すると、以降は自動的に再接続されます。



- (6) ペアリング通知が表示されない場合は、アプリ画面下部の「📷」ボタンをタップしてお試しください。



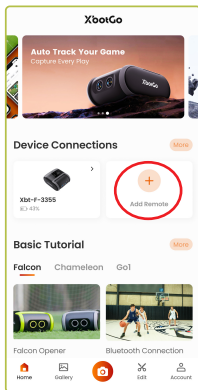
# アプリケーションの説明

- (7) 接続済みの Falcon カメラは、XbotGo アプリのメイン画面にアイコンとデバイス名が表示されます。
- (8) 「+」をタップして、リモコンを追加することもできます。



注記

同時に接続できるのは、カメラ1台とリモコン1台のみです。



## 2. 録画

スマートフォンと接続後、アプリ内でスポーツ種目を選択し、録画モードに入ります。

## 3. 撮影画面の説明

XbotGo アプリで撮影画面に入ると、画面上のアイコンをタップして各機能を使用したり、設定を変更したりできます。



### 3.1 写真撮影



録画中にこのボタンをタップすると、現在の映像を写真として保存できます。

### 3.2 マーク



試合中に [Mark (マーク)] ボタンをタップすると、ゴールなどの重要な瞬間をリアルタイムで記録し、後の編集時にすぐに特定できます。

# アプリケーションの説明

---

## 3.3 ライブ共有



ライブ配信を開始した後にこのボタンが表示されます。タップすると他のユーザーをライブ視聴に招待できます。

## 3.4 録画機能



赤い録画ボタンをタップすると、自動追跡とビデオ録画を開始／停止します。



一時停止ボタンをタップすると、録画を一時停止します。

## 3.5 ズーム設定



撮影効果と追跡性能のバランスを取るため、アプリでは各撮影モードに異なるズーム倍率が事前設定されています。

### 3.6 スコアボード機能



試合のスコアを手動で入力・修正できます。  
ボタンをタップしてスコアやチーム名などを入力すると、データがメインデバイスの録画画面に同期表示されます。

#### スコアボードには4種類のスタイル:

一般スタイル、サッカー用、バスケットボール用、アイスホッケー用。  
選択したスポーツモードに応じて対応するスコアボードが自動で表示されます。サッカー／バスケットボール／アイスホッケー以外のモードでは一般スタイルが適用されます。

### 3.7 ライブ配信の開始



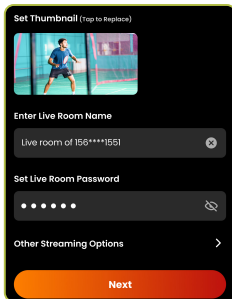
ライブボタンをタップし、画面の指示に従ってライブカバーを選択し、配信タイトルを入力します。  
ライブはXbotGo プラットフォーム上で行われ、共有リンクで配信をシェアしたり、視聴パスワードを設定して観客範囲を制限することもできます。

# アプリケーションの説明

## ライブ設定

- (1) 配信ルーム名、カバー画像、パスワード (いずれも任意項目) を設定し、[Other Streaming Options (その他の配信方法)] をタップすると Facebook または YouTube 配信を選択できます。

ローカル配信の場合はステップ (3) へ進み、後続手順を確認してください。



## (2) その他の配信方法

### Facebook 配信:

- 1) [Go to Bind ( バンディングする )]  
をタップし、アプリの指示に従って  
Facebook アカウントとバンディング  
します。
- 2) バンディング完了後、Facebook を選  
択し [Next ( 次へ )] をタップします。



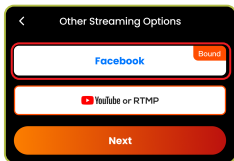
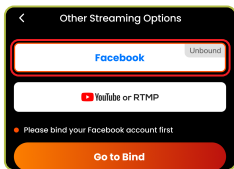
注意

長期間ログインしていな  
い場合は、再度のバンディ  
ングが必要です。

### 注記:

2024 年 6 月 10 日以降、Facebook ライ  
ブ配信を行うには以下の条件を満たす必  
要があります。

- a. Facebook アカウントの開設から少な  
くとも 60 日が経過していること。
- b. Facebook ページまたは「プロフェッ  
ショナルモード」プロフィールに 100 名  
以上のフォロワーがいること。これらの  
条件を満たし、ライブ配信権限を持っ  
ていることをご確認ください。

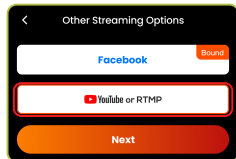
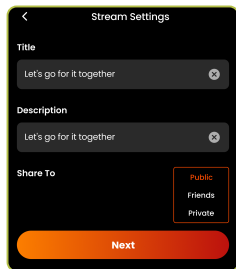


# アプリケーションの説明

- 3) タイトルと説明を入力し、「公開」「友達」「非公開」から共有範囲を選択して [Next (次へ)] をタップし、ネットワーク設定画面に進みます。

## YouTube 配信:

YouTube または RTMP を選択し、[Next (次へ)] をタップします。パソコンまたはスマートフォンのブラウザで YouTube ウェブ版にログインします (スマートフォンの場合はブラウザを横向きにしてください)。YouTube にログイン後、右上の設定から PC モードに切り替え、自分のチャンネルの URL とストリームキーをコピーして XbotGo アプリの該当欄に貼り付けます。[Start Livestream (ライブ開始)] ボタンをタップして配信を開始します。録画中に一時停止を押すと黒画面になる場合があります。



- (3) ライブ設定  
ネットワーク設定画面で [Resolution (解像度)] を選択して画質を設定し、Wi-Fi に接続後 [Start Livestream (ライブ開始)] をタップすると配信が開始されます。



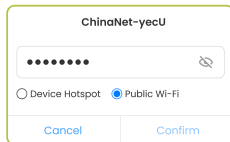
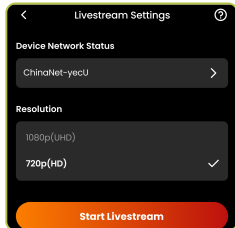
注記

Falcon 本体とスマートフォンが同じ Wi-Fi に接続されていること、またはスマートフォンのホットスポットを使用してネットワーク接続を提供していることを確認してください。



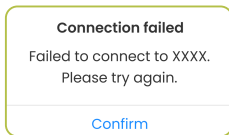
注意

[Device Hotspot (デバイスホットスポット)] または [Public Wi-Fi (公共 Wi-Fi)] のいずれかを選択し、接続してください。



# アプリケーションの説明

- (4) ネットワークに接続されていない場合、または接続に失敗した場合は警告ダイアログが表示されます。  
[Confirm (確定)] をタップし、再接続してください。



### 3.8 方向コントローラー



カメラの視点移動を操作できます。

ボタンをタップすると、画面上に方向コントローラーが表示されます。コントローラー上の白いポイントをドラッグするか、画面上の矢印をタップして、メインデバイス (Falcon カメラ) を遠隔操作で回転させることができます。



### 3.9 画面の非表示



ボタンをタップすると、撮影画面上のすべての操作アイコンを表示/非表示に切り替えることができます。

### 3.10 撮影設定



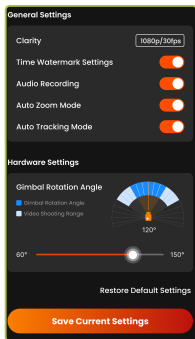
撮影パラメータを調整できます。

撮影パラメータを変更した場合は、[Save Current Settings (現在の設定を保存)] をタップして変更を確定してください。デフォルト設定に戻す場合は、[Restore Default Settings (デフォルト設定に戻す)] をタップします。

# アプリケーションの説明

## 共通設定

タイムスタンプ設定	デフォルトでオン。必要に応じてオフにできます。
音声録音	デフォルトでオン。必要に応じてオフにできます。
解像度	1) 通常はデフォルトで 1080pHD。 2) 撮影解像度として 4K、1080p、720p を選択可能。 3) 1080p 録画がデフォルトのユーザーは手動で 4K にアップグレードできます。
オートズームモード	デフォルトでオン。 オンにすると、撮影中にシーンやタイミングに応じて自動的に焦点距離を調整します。
自動追跡モード	デフォルトでオン。必要に応じてオフにできます。



## ハードウェア設定

### 回転角度 設定

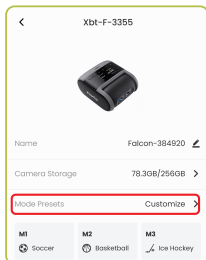


この設定は、デバイスの左右回転範囲を制限し、過度な回転による誤動作を防止します。撮影範囲を変更する場合は、角度を手動で設定してください。

- 1) 60°～150°の回転角度設定に対応。[Auto Tracking Mode (自動追跡モード)] をオフにすると、デバイスの回転が停止します。
- 2) 赤い領域はデバイスの回転角度を示し、青い領域は撮影可能な範囲を示します。

## 4. モードプリセット

ユーザーは [Customize (カスタム)] をタップして、モードプリセットを自分好みに調整できます。



# アプリケーションの説明

## 4.1 モードとシーン

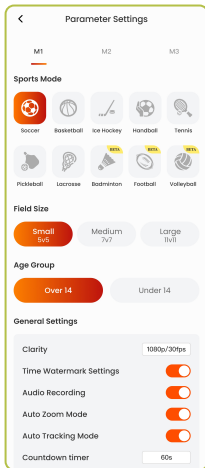
- **モードラベル:** M1 (現在選択中)、M2、M3 — 各モードに異なるスポーツシーンのパラメータを事前設定可能。
- **スポーツモード:** サッカー、バスケットボール、アイスホッケーなどに対応。

## 4.2 基本シーン設定

- **フィールドサイズ:** 小型 (5v5 / 選択中)、中型 (7v7)、大型 (11v11) — 試合規模に応じて選択可能。
- **年齢区分:** 14 歳以上 (選択中)、14 歳未満 — 青少年 / 成人の運動強度に応じて選択可能。

## 4.3 共通撮影設定

- **タイムスタンプ:** オン (撮影時間を記録)
- **音声録音:** デフォルトでオン
- **解像度:** 1080 p / 30 fps (解像度 + フレームレート)



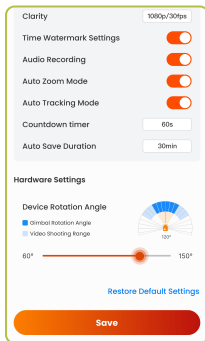
- **自動機能:** オートズームおよびオート追跡を有効化(被写体の動きを自動追跡)
- **自動保存時間:** 30分
- **カウントダウン撮影時間:** 初期値は 60 秒、30 ~ 120 秒の範囲で任意に設定可能。  
(撮影時のカウントダウン中: プリージングライトが「白色・低速点滅」し、カウントダウン進行中であることを示します。  
カウントダウン終了/撮影開始時: プリージングライトが「白色・高速点滅×3回」し、同時に最後の1秒で長いピープ音が鳴ります。ピープ音が終了すると録画開始となります。)

#### 4.4 ハードウェアパラメータ

**本体回転角度:** 撮影モードによりデフォルト値が異なり、調整範囲は 60° ~ 150°。この設定によりカメラの水平撮影範囲が決まります。

#### 4.5 操作

[Restore Default Settings ( デフォルト設定に戻す )] でリセットし、[Save ( 保存 )] で現在の設定を確定します。



# アプリケーションの説明

## 5. バasketボール単独モード追跡(ベータ版)

この機能は、Basketボール選手の背番号をAIで認識して追跡を行う単独モードに対応しています。システムが背番号を自動認識し、該当する選手をロックして正確に追跡撮影を行います。

### 5.1 操作手順

#### (1) 背番号の追加(使用時ごとに入力が必要)

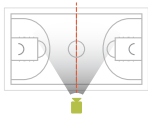
- [Basketball — Single Mode (Basketボール — 単独モード)] → [Jersey Number (背番号)] → 選手の背番号を入力します。
- 写真撮影: 選手の正面と背面の全身写真を撮影し、対応する背番号のユニフォームを着用していることを確認します。  
(認識精度を高めるため、明るく背景が整理されたBasketコートで撮影してください。)

## (2) デバイスの設置位置

コートのサイドライン中央に Falcon を設置し、選手の動きをフルフレームで追跡できるようにします。

### 全コート撮影

撮影画面の中央をコートの**センターライン**に合わせ、追跡撮影の映像が全体をカバーするようにしてください。



### ハーフコート撮影

撮影画面の中央を**バスケットゴール**に合わせ、追跡撮影の映像が十分にカバーされるようにしてください。



準備が完了したら [Start Shooting (撮影開始)] をタップすると、XbotGo デバイスが指定番号のユニフォームを着た選手を自動追跡します。

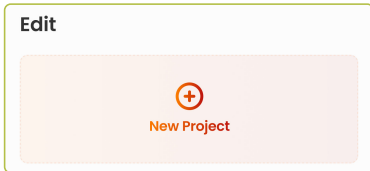
# アプリケーションの説明

## 6. ビデオ保存と編集

ビデオ編集機能は [Edit (編集)] ページにあり、編集後は各プラットフォームに直接共有できます。

### 6.1 ビデオの追加

[New Project (新規)] ボタンをタップし、編集タスクを追加します。



### 6.2 結合と書き出し

2～5本のビデオ素材を選択して結合し、1本の長編ビデオとしてローカルアルバムに保存できます。編集ページではドラッグ操作で素材の順序を変更できます。

### 6.3 [Mark Editing (マーク編集)] を選択

マーク機能は、ビデオ内の特定の瞬間をキーポイントとして追加・記録し、後の編集で素早く検索・書き出しできるようにする機能です。

1本以上、最大5本までのビデオ素材を選択して、マーク編集画面に入ります。

### 手動マーク編集:

- この画面でマーク情報を手動で追加・削除し、マーク位置の前後のクリップ時間を設定できます。書き出し後、各マークポイントのハイライトシーンをまとめたダイジェスト動画が生成されます。
- マーク編集のデフォルト時間は、マーク位置の「前 2 秒・後 4 秒」です。手動で調整することもでき、設定を保存すると新しい時間範囲でクリップが作成されます。

### バスケットボール AI マーク編集:

- XbotGo デバイスで撮影されたバスケットボール試合の映像の場合、AI が自動的にハイライトシーンを分析できます。手動マークにも対応しています。書き出し後、AI により自動編集されたバスケットボールハイライト動画が生成されます。
- AI マーク精度: デフォルトは [Precision Mode ( 精密モード )] で、分析時間は長いですが精度が高くなります。[Quick Mode ( 高速モード )] も選択可能で、分析時間は短いものの結果は簡略的です。
- AI 分析中は、マーク精度・編集順序・ビデオの追加／削除を変更できません。



#### 注意

編集タスクを実行するには、少なくとも 2GB 以上の空きメモリが必要です。動画ファイルが大きい場合は、より多くの空き容量が必要になることがあります。

# ファームウェアアップデート

## アップデート手順

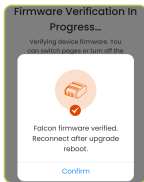
### 1. アップデート指示の受信と実行

新しいファームウェアが利用可能な場合、アプリにアップデート通知が表示されません。[Firmware Update (ファームウェアアップデート)] をタップすると、Falcon カメラが自動でアップデートを実行します。



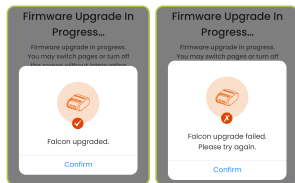
### 2. アップデート中

[Firmware Update (ファームウェアアップデート)] をタップすると、アプリがファームウェアのダウンロード、インストール、検証を自動で行います。検証完了後 [Confirm (確定)] をタップしてアップデート結果を待ちます。



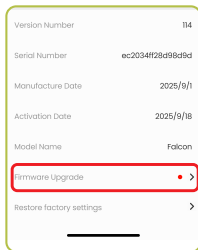
### 3. アップデート結果

Falcon カメラはアップデート完了後に再起動し、アプリが再接続して成功または失敗を判定します。



### 4. 手動アップデート

アプリ通知を逃した場合は、「デバイス一覧」画面に入り、下部の [Firmware Upgrade (ファームウェアアップデート)] ボタンをタップして手動で実行できます。



# 製品仕様

## 共通仕様

サイズ	134 × 116 × 76 (mm)
重量	808 g
レビュー 最大解像度	1920 × 1080
ダウンロード 最大解像度	3840 × 2160

## カメラ

構造回転 範囲	水平：無制限 360°
	チルト：160°

## ワイヤレスモード

Wi-Fi タイプ	Wi-Fi 6
Bluetooth モード	Bluetooth 5.2

## ソフトウェア

アプリ	XbotGo
-----	--------

## バッテリー

タイプ	リチウム電池
定格容量	9200 mAh
エネルギー	3312 mWh
電圧	3.5 V ~ 4.2 V (標準 3.6 V)
充電用 DC 電源	5 V / 3 A, 9 V / 2 A, 12 V / 1.5 A
動作時間	4 時間 *
充電時間	3 時間 *
カメラ充電ポート	Type-C

- \* 上記のデータは Deep Foresight ラボのテスト結果に基づいており、実際の環境によって多少異なる場合があります。製品仕様は継続的な改良により予告なく変更されることがあります。

# よくある質問

## 1. 液晶画面のアイコンの説明

アイコン	説明
 液晶画面のタイムアウトアイコン。黒い背景に緑色の「00:00:00」のタイマーと、右上のWi-Fi、Bluetooth、バッテリーのアイコンが並ぶ。	電源セーフティロックがロック状態のときに表示されます。
 電源セーフティロックがロック状態のときに M1/M2/M3 を押した場合、またはアプリの撮影画面で撮影開始をタップした場合に表示されます。黒い背景に緑色の「00:00:00」のタイマーと、中央に赤いロックアイコン、右上のWi-Fi、Bluetooth、バッテリーのアイコンが並ぶ。	電源セーフティロックがロック状態のときに M1/M2/M3 を押した場合、またはアプリの撮影画面で撮影開始をタップした場合に表示されます。
 SDカードの容量不足、またはSDカードの形式が不正な場合に表示されます。黒い背景に緑色の「00:00:00」のタイマーと、中央に赤い警告アイコン、右上のWi-Fi、Bluetooth、バッテリーのアイコンが並ぶ。	SDカードの容量不足、またはSDカードの形式が不正な場合に表示されます。
 バッテリー温度が高すぎる場合に表示されます。撮影は一時停止されます。黒い背景に緑色の「00:00:00」のタイマーと、中央に赤い禁止アイコン、右上のWi-Fi、Bluetooth、バッテリーのアイコンが並ぶ。	バッテリー温度が高すぎる場合に表示されます。撮影は一時停止されます。
 0°C未満の環境で充電器を接続した場合に表示されます。黒い背景に緑色の「00:00:00」のタイマーと、中央に赤い充電器アイコン、右上のWi-Fi、Bluetooth、バッテリーのアイコンが並ぶ。	0°C未満の環境で充電器を接続した場合に表示されます。
 正常に充電されていない場合に表示されます。黒い背景に緑色の「00:00:00」のタイマーと、中央に充電器のアイコンと赤い充電ケーブルのアイコン、右上のWi-Fi、Bluetooth、バッテリーのアイコンが並ぶ。	正常に充電されていない場合に表示されます。

# よくある質問

## 2. 追跡異常が発生する可能性のある原因は？

- バッテリー残量不足: 使用前に必ず十分に充電してください。
- Bluetooth ペアリングの誤り: 複数デバイスとの同時ペアリングを避けてください。
- カメラ位置や角度が不適切: アプリ内の設置ガイドに従い調整してください。
- スポーツ種別やフィールド設定の誤り: 撮影対象・会場・撮影モードが一致していることを確認してください。
- サイドライン近くの人混みの影響: 可能な限りサイドライン付近に設置し、人混みを避けてください。

## 3. 特定の選手を追跡できますか？

- バスケットボールの撮影モードでは、背番号追跡機能により特定選手の追跡が可能です。ただし、本機能はテスト版のため追跡精度が安定しない場合があります。

## 4. 電源が入らない場合の対処方法は？

- 3時間充電後、電源ボタンを10秒長押しして強制再起動し、起動可否を確認してください。
- 電源セーフティロックが解除された状態であることを確認し、要件を満たしたPD電源アダプターを使用して十分に充電してください。

## 5. デバイスの Bluetooth に接続できない場合は？

- XbotGo アプリのデバイス一覧に Falcon の Bluetooth 名 (Xbt - F - XXXX) が表示されますか？

### a. はい

- デバイスのバッテリー残量が十分であることを確認してください。
- デバイス管理画面右上の更新ボタンをタップしてください。
- アプリを終了し、再度起動してください。
- 電源ボタンを素早く2回押し、デバイスの Bluetooth をリセットしてから再試行してください。
- デバイスを再起動して再試行してください。
- サイドライトが常時点灯している場合、他のスマートフォンと接続されています。切断後に再試行してください。
- スマートフォンの設定で Bluetooth の接続履歴が多すぎないか確認し、不要なデバイスを削除／無視してから再試行してください。
- XbotGo アプリを最新バージョンにアップデートしてください。

## よくある質問

### b. いいえ

- デバイスのバッテリー残量が十分であることを確認してください。
- スマートフォンの設定で XbotGo アプリに Bluetooth 権限が付与されているか確認してください。ない場合は許可してください。
- スマートフォンの Bluetooth がオンになっているか確認し、オフの場合はオンにしてください。
- スマートフォンの省電力モード / おやすみモードを解除してください。
- 電源ボタンを素早く 2 回押し、デバイスの Bluetooth をリセットしてください。
- デバイスを再起動してください。
- アプリを終了し、再度起動してください。
- サイドライトが常時点灯している場合、他のスマートフォンと接続されています。切断後に再試行してください。
- スマートフォンの設定で Bluetooth の接続履歴が多すぎる場合は、不要なデバイスを削除または無視してください。
- XbotGo アプリを最新バージョンにアップデートしてください。

## 6.一般的な解決方法は？

- デバイスを再起動し、アプリを終了して再起動してください。
- Bluetooth 設定のリセットを試し、再度デバイスに接続してください。

# XbotGo Falcon

AI SPORTS CAMERA

取扱説明書

XbotGo™  
WWW.XBOTGO.COM



内容は予告なく変更される場合があります。  
詳細については Blink Tech 公式ウェブサイトをご確認ください。  
[www.xbotgo.com](http://www.xbotgo.com)

バージョン 2.3 2026年3月